

/// 日韓アジア基金のボランティアに参加して /// ニュースレターの発送作業

会社員 滑川 幹雄

ボランティアの朝は早い。

私の行いが悪いのか当日は朝から雨。

ボランティア開始時間前 30 分には到着したいので 7 時過ぎには家を出る。日曜日の早朝のせいかいつもは通勤の人が多いのだが駅までの通勤経路に人が居ない。

アジア文化会館は三田線の千石駅が最寄りの駅だ。今まで 1 度も降りたことがないので朝から迷わないように事前にグーグルマップで徒歩経路を確かめておいた。駅から地上に出るとアジア文化会館は簡単に見つけることが出来た。想像したより歴史を感じる建物である。入り口の案内所で本日の作業部屋を教えて頂く。

作業室に入ると日韓アジア基金のスタッフの方が慌ただしく準備をしていた。スタッフの方と簡単に挨拶を交わして本日の説明を受ける。その後すぐに簡単なニュースレターの仕分け作業に入った。

この日韓アジア基金のボランティアは昨年同じ会社の宮川さん（定年退職しました）が参加した時にお話を聞いていました。



ニュースレターの発送作業は定期的に行われているのですが、作業内容が年齢には余り関係なくお手伝いできる事、スタッフの方々が親切丁寧に作業指導をして頂け初めての方にも気軽に参加出来るのでお勧めです。その証拠に小中学生から定年が近い方ま

で参加されています。

作業開始前に参加ボラン

皆さん、わき目も振らずに作業中です

ティアの皆さんの簡単な自己紹介が有りましたが、若い方のボランティアに参加する真剣な眼差しが素晴らしいと感じました。そして集まって来た方々との一体感も感じました。

この日韓アジア基金のボランティアは 2001 年に設立されてから今年で 13 年目だそうです。多くの方々の支援がなければ、どのボランティア活動も長続きはしません。13 年も続いていることが皆さんから認められている良い証拠でしょう。今後とも支援者への配慮やボランティア活動の実績を元に一層のご繁栄を願っています。また機会が有りましたら、参加をさせていただきます。